平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	不法投棄対策								継続
コード	24	－	52	－	01	－	00	予算事業名	不法投棄対策
担当部署	環境部		収集管理課					予算事業コード	会計 10　款 04　項 02　目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

法令による実施義務：義務

基本目標(章)	5章	人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち	実施計画事業名	なし
方向性(節)	2節	循環型社会の構築	個別計画等の名称	第2次川越市環境基本計画
施策	3	廃棄物の適正処理		
細施策	4	不法投棄対策の徹底	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	不法投棄の未然防止を図り、迅速な収集により生活環境の悪化を防ぐため
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	不法投棄監視カメラを設置し、違法行為の監視をしている。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額			4,224	4,114	4,068	3,929	3,544
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A				3,986		
人件費	B	0	0	0	1,101	0	0
総コスト（C＝A＋B）		0	0	0	5,087	0	0
正規職員（1年間の従事人数）					0.15人		
臨時職員（1年間の従事人数）							
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担（＝C－D－E）		0	0	0	5,087	0	0

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

	評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動	不法投棄件数	件	225	303	274	292	290	年度
	指標の定義・説明		不法投棄件数					
								年度
	指標の定義・説明							
								年度
	指標の定義・説明							
								年度
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価	不法投棄監視カメラの効果により不法投棄が減少し、周辺環境が改善している。また、不法投棄の早期収集が可能である。							

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　必要性に課題

現在10機の監視カメラを設置しているが、平成25年12月に1台、平成27年2月に9台のリース期間が終了するため、その後の継続と運用方法等について検討している。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

不法投棄対策として全国的に導入している。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

不法投棄が増加する恐れがある。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			環境部				収集管理課	
事務事業名称			24	52	01	00	不法投棄対策	
今後3年間の方向性	25年度	縮　小	リース期間満了となる機種については、今後の継続と運用を検討していく。					
	26年度	改善（見直し）	費用を見直し、機種を更新していく。					
	27年度	継　続	維持費を縮小し、監視カメラを継続していく。					